

作目名	ほうれんそう
-----	--------

作型名	露地栽培（平坦地）
-----	-----------

月 旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
露地栽培																																サンピア					
																																アスパイア					
																																プラトン					
																																さっちゃん					

○ は種 ■ 収穫

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

岐阜、西濃

(2)立地条件

①気象条件

高温に弱く、低温に強いから広範囲に栽培出来るが、積雪が少ない地域が望ましい。年平均気温14～15℃地帯。

②ほ場条件

土壌適応性が広いが、乾燥や湿害を受けやすいから、排水よく、深い耕土が適し、腐植が多い砂質壤土がよい。水田では、排水が良く、地力が高い砂質壤土で高うね栽培とする。

(3)目標収量（10 a 当たり）

2, 0 0 0 kg

○施肥基準

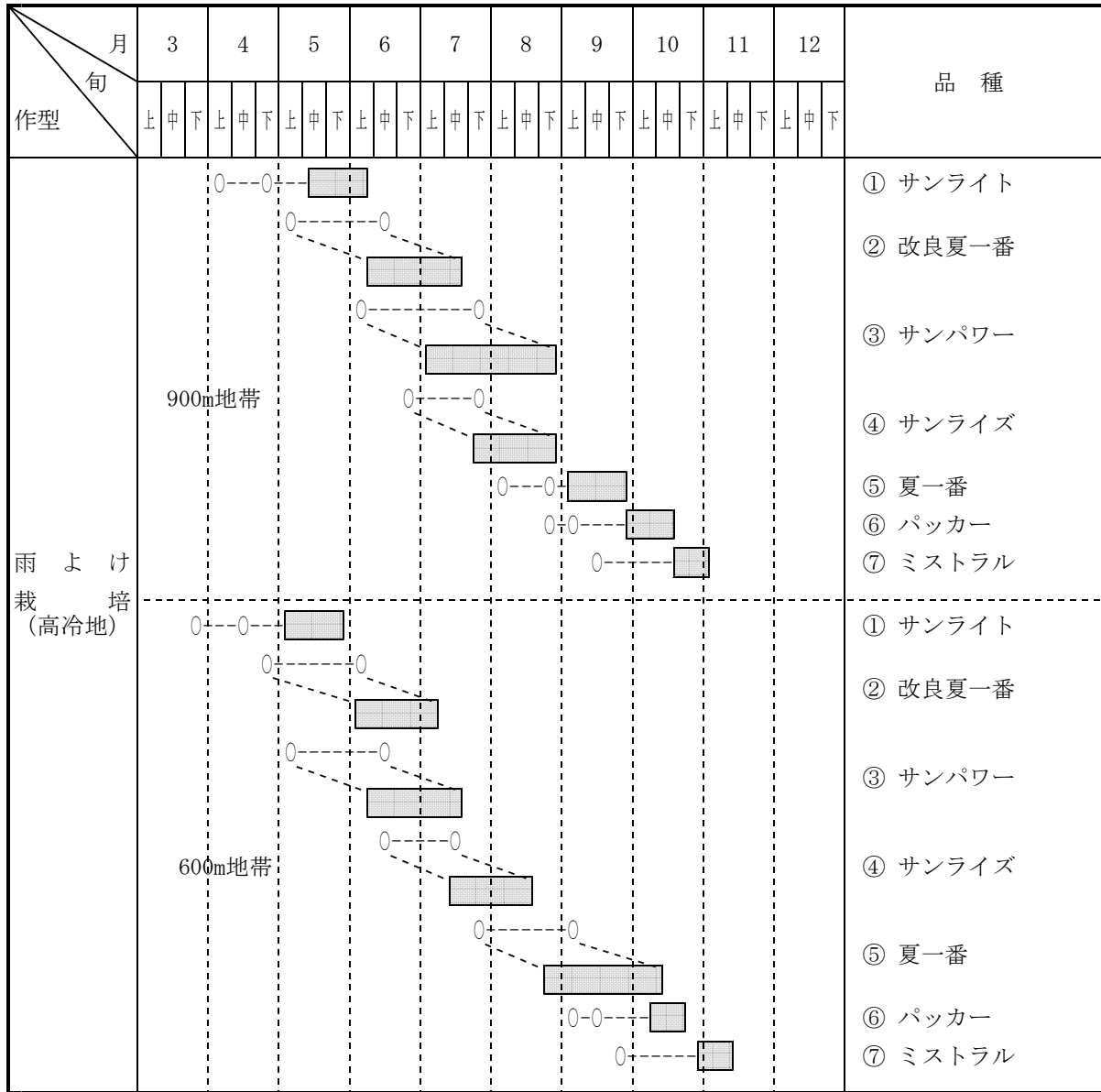
(1)施肥基準量 (10a当たり・kg)

施肥成分	総量		基肥	追肥					
				1	2	3	4	5	6
窒素	化学肥料由来	14.4	0	4.8	4.8	4.8			
	有機質肥料由来	6	6						
りん酸	15.6		6	3.2	3.2	3.2			
加里	14.4		6	2.8	2.8	2.8			

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。
- 2 前作の残存が考えられるので、土壌診断を行ってから施肥量を決める。
- 3 未熟堆肥の使用は障害発生が多いので注意する。

作型名	雨よけ栽培（高冷地）
-----	------------



○---○ 播種期間 ■ 収穫期間

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

飛騨、中濃、東濃（標高400～1,200m）

(2) 立地条件

① 気象条件

台風被害の少ない山間冷涼地に適する。8月の平均気温が25℃を超えない地帯で5月上旬～11月中旬の連続出荷ができる。

② ほ場条件

降雨を回避するため全期間パイプハウス栽培とし、水利の良い圃場を選ぶ。作土が深く、排水良好な圃場とする。水田利用では降雨時にハウス周辺の排水が容易にできる場所を選ぶ。水田転

作の当年や開墾地では、りん酸・石灰・苦土・ほう砂・たい肥を投入し、土壌改良を行う。

③ 栽植株数 (10a当たり)

8万～9万株 (条間16cm × 株間7～8cm)

(3) 目標収量 (10a当たり)

10a 1作当たり 4～7月穫り 350～400ケース

8～11月穫り 250～300ケース

10a 当たり年間 (4～11月) 1,200ケース (4作体系時)

○施肥基準

(1) 施肥基準量 (10a当たり・kg)

施肥成分	総量		基 肥				
			第1作	第2作	第3作	第4作	第5作
窒 素	化学肥料由来	29.9	15.6	5.2	5.2		3.9
	有機質肥料由来	6.0		6.0			
りん酸		35.9	15.6	11.2	5.2		3.9
加里		35.9	15.6	11.2	5.2		3.9

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。
- 2 苦土石灰は、作付前に土壌酸度を測定し、その量を決定する。
- 3 極端な節水管理は肥効低下により収量減となるので、かん水量に留意し生育促進を図る。